

## (1) 保存地区の概要

地区名	加賀市加賀東谷
種別	山村集落
面積	約151.8ヘクタール
選定年月日	平成23年11月29日

**特徴**  
保存地区は、山間部に位置する4つの集落で構成される。これらの集落は藩政期より製炭や焼畑で栄えた。明治前期から昭和30年代までに建てられた主屋や土蔵等が群として残っている。  
主屋は二階建、切妻造、妻入を基本とする。屋根は赤瓦で葺かれ、煙出しを備える。伝統的建造物と周囲の自然環境が一体となり、歴史的な山村景観を形成している。

## (2) 保存地区のあゆみ

平成16年度(2004)	全国町並みゼミ 大聖寺大会の 分科会開催地となる
平成19年度(2007)	伝統的建造物群保存調査の開始(～平成20年度)
平成21年度(2009)	保存会の運営する 「山野草かふえ」オープン
平成23年度(2011)	重要伝統的建造物群保存地区に選定
平成24年度(2012)	保存修理事業の開始(～現在)
平成28年度(2016)	全国伝建協加賀市大会の開催

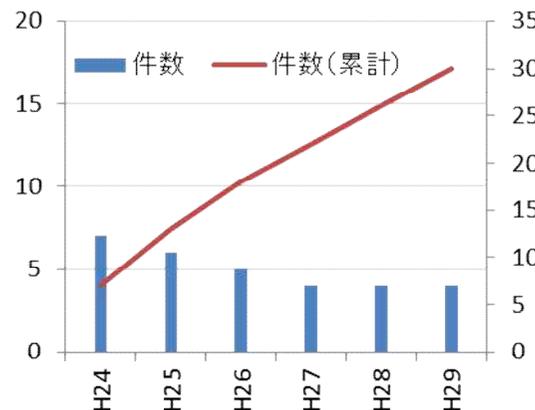


加賀東谷地区の4集落

## (3) 保存地区の保存と整備



保存修理事業の実施実績



## (4) 保存地区の活用とまちづくり

空き家の活用により、来訪者が増加



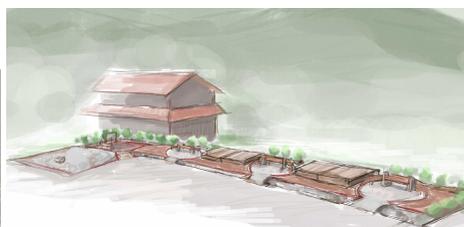
カフェ(主屋を活用)

カフェ(土蔵を活用)

資料館(主屋を活用)

子どもの遊び場(土蔵を活用)

## (5) 住民等の取組



地元保存会, 県内3つの大学,  
市の3者協働により,  
地域づくりを展開

